

総務編



1. 花巻市消防本部管内の概況

平成 18 年 1 月 1 日に花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町の 1 市 3 町の合併に伴い、新「花巻市」が誕生しました。

当地は、岩手県内陸部のほぼ中央に位置し、面積 908.39k m²を有しており、県都盛岡市から南方約 30 km、仙台市から北方約 150 km、東京からは約 500 km の位置にあります。

地形は、西に奥羽山脈、東に北上高地、その間を流れる北上川には西から豊沢川、瀬川、葛丸川、東から猿ヶ石川、稗貫川が合流し、北上川を中心として広がる流域の平野には穀倉地帯が形成されています。

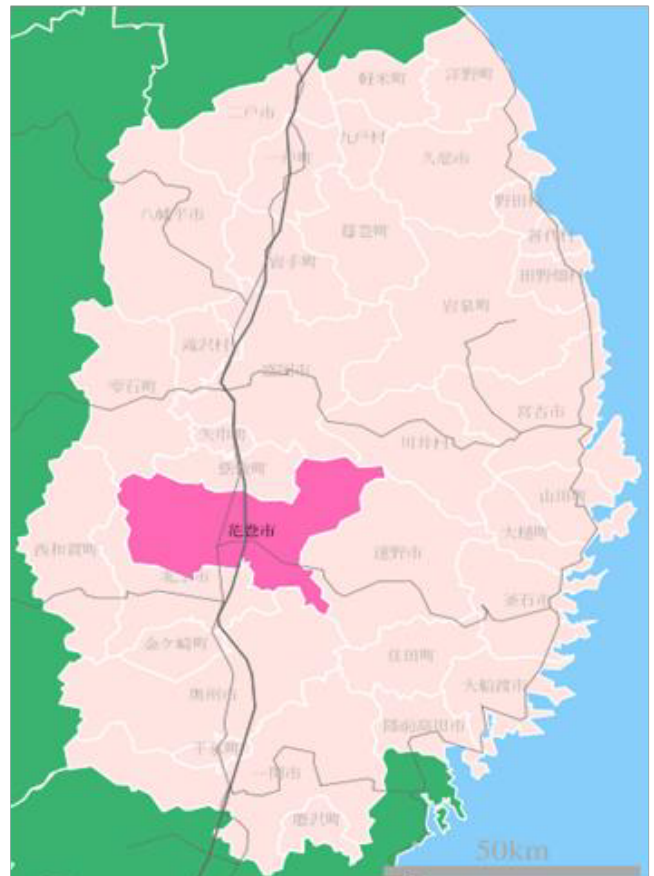
気候は奥羽山脈、北上高地に囲まれているため内陸性の平穏な気候です。

市内の交通は、本県唯一の空港である「いわて花巻空港」が所在し、札幌空港まで約 55 分、名古屋（小牧）空港まで約 75 分、大阪（伊丹）空港まで約 90 分、福岡空港まで約 130 分と、北海道・中部・近畿・九州を結ぶ路線が整っています。道路は東北縦貫自動車道とこれと平行に走る国道 4 号、同 456 号、本県内陸部と太平洋沿岸部を結ぶ国道 283 号、同 396 号、そして東北横断自動車道が開通しました。鉄道は東京まで約 160 分の東北新幹線をはじめ東北本線や釜石線と、空路、高速道、鉄道の三拍子そろった高速交通の要衝になっています。

また、北上川を中心に肥沃な土壌の平野が広がり県内有数の穀倉地帯を形成し、園芸作物においても地域の特性を生かした野菜、果樹等の生産が盛んに行われています。

観光においても、花巻温泉郷、花巻南温泉峡、東和温泉など多くの温泉を有しており、県内はもとより、高速交通網を活用して県外から、さらには海外からも多くの観光客が訪れる保養地になっています。

さらに、雨ニモ負ケズ風ニモ負ケズの詩人宮沢賢治生誕の地、また詩人で彫刻家の高村光太郎が晩年を過ごした「花巻」。貴重な高山植物の生育地として知られる早池峰山と神楽とワインの里「大迫」。日本三大杜氏の一つである南部杜氏発祥の地「石鳥谷」。近代美術の先駆者萬鉄五郎の誕生の地であり、ウォータースポーツの盛んな田瀬湖を有する「東和」など、花巻市は豊かな自然、歴史、文化を持ち、これらを基盤として活発な交流を展開させ、積極的に地域の発展整備が続けられています。



2. 花巻市消防本部発足とあゆみ

(1) 常備消防機関の沿革

年 月	記 事
昭和 27 年 4 月	花巻町消防団常備部が誕生
昭和 29 年 4 月	花巻町、湯口村、湯本村、矢沢村、宮野目村、太田村の 1 町 5 ヶ村が合併し花巻市となり、消防本部及び消防署を設置
昭和 30 年 7 月	笹間村を合併する
昭和 33 年 3 月	消防庁舎を城内 1－4 3 に新築
昭和 43 年 12 月	救急業務を開始
昭和 48 年 6 月	花巻空港の警備を開始
昭和 49 年 3 月	花巻市消防本部及び消防署廃止

(2) 花巻地区消防事務組合の発足とあゆみ

○組合の組織 花巻市、石鳥谷町、東和町、大迫町の 1 市 3 町をもって組織する

○組合の共同処理する事務 関係市町の消防に関する事務、ただし消防団に関する事務及び消防水利に関する事務を除く

年 月	記 事
昭和 49 年 4 月	1 本部、1 署、3 分署の組織で発足 石鳥谷町、東和町、大迫町に分署開設、消防、救急業務開始 職員 13 名採用（条例定数 99 名、実員 66 名）
8 月	職員 12 名採用（条例定数 99 名、実員 78 名）
昭和 50 年 3 月	石鳥谷、東和、大迫の各分署庁舎落成
4 月	職員 6 名採用（条例定数 99 名、実員 84 名）
5 月	消防相互応援に関する協定（県内 14 消防本部）
昭和 51 年 4 月	職員 6 名採用（条例定数 99 名、実員 90 名）
8 月	消防庁舎（消防本部、署）建設事業着手
昭和 52 年 4 月	職員 10 名採用（条例定数 99 名、実員 99 名）
11 月	花巻温泉分遣所庁舎落成、業務開始 東北自動車道供用開始に伴う救急業務を開始 東北自動車道相互応援協定（盛岡、北上、胆沢、両磐）
昭和 53 年 2 月	職員定数条例改正 103 名となる
7 月	消防本部、署新庁舎落成、業務開始
昭和 54 年 4 月	職員 5 名採用（条例定数 103 名、実員 102 名）
昭和 56 年 4 月	職員 3 名採用（条例定数 103 名、実員 103 名）
昭和 58 年 4 月	職員 2 名採用（条例定数 103 名、実員 103 名）
昭和 59 年 9 月	日本消防協会より救急自動車贈呈される（東和分署）
昭和 60 年 10 月	石鳥谷分署、車庫増築

昭和 61 年 4 月	職員 1 名採用（条例定数 103 名、実員 102 名）
12 月	東和分署庁舎移転落成
昭和 62 年 8 月	日本消防協会より救急自動車贈呈される（花巻温泉分遣所に配置）
昭和 63 年 4 月	職員 3 名採用（条例定数 103 名、実員 103 名）
平成 元年 10 月	日本損害保険協会より水槽付ポンプ車贈呈される
12 月	職員定数条例改正 110 名となる
平成 2 年 4 月	職員 7 名採用（条例定数 110 名、実員 108 名）
10 月	花巻南温泉分遣所庁舎落成、業務開始
平成 3 年 4 月	職員 2 名採用（条例定数 110 名、実員 110 名）
平成 4 年 2 月	消防本部通信指令室改修
3 月	消防緊急通信指令施設導入（Ⅱ型）運用開始
11 月	職員定数条例改正 120 名となる
平成 5 年 4 月	職員 8 名採用（条例定数 120 名、実員 114 名）
5 月	救急救命士資格取得者 1 名（第 1 号）
11 月	花巻空港及びその周辺における消火救難活動に関する協定
平成 6 年 4 月	職員 4 名採用（条例定数 120 名、実員 115 名）
10 月	組合発足 20 周年記念式典実施
平成 7 年 4 月	職員 5 名採用（条例定数 120 名、実員 120 名）
	高規格救急自動車運用開始（消防署）
9 月	石鳥谷分署及び大迫分署の救急車改造並びに高度救命資機材整備
10 月	石鳥谷分署、東和分署及び大迫分署の気象観測機器更新整備
11 月	職員定数条例改正 143 名となる
	岩手県緊急消防援助隊発足（救急部隊登録）
	防災講演会開催（社団法人日本損害保険協会共催）
平成 8 年 2 月	消防署に小型動力ポンプ付水槽車（Ⅱ型）を更新配置。
3 月	東和分署に高規格救急自動車を配置
4 月	職員 10 名採用（条例定数 143 名、実員 127 名）
6 月	花巻空港福岡線開設
10 月	岩手県防災ヘリコプター応援協定
平成 9 年 2 月	花巻温泉分遣所に高規格救急自動車を配置
4 月	職員 7 名採用（条例定数 143 名、実員 133 名）
10 月	石鳥谷分署に指令車を更新配置
11 月	消防署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ－A型を更新配置
平成 10 年 3 月	大迫分署に高規格救急自動車を配置
4 月	職員 7 名採用（条例定数 143 名、実員 138 名）
7 月	消防本部に査察車を更新配置
12 月	消防署に災害対応特殊高規格救急自動車配置
平成 11 年 1 月	石鳥谷分署に高規格救急自動車を配置
4 月	職員 2 名採用（条例定数 143 名、実員 139 名）
12 月	消防署に救助工作車を更新配置（社団法人日本損害保険協会寄贈）

平成 12 年 4 月	職員 4 名採用（条例定数 143 名、実員 142 名）
12 月	石鳥谷分署に水槽付消防ポンプ自動車 A－Ⅱ型を更新配置
平成 13 年 3 月	防災講演会開催（花巻市等の共催）
4 月	職員 3 名採用（条例定数 143 名、実員 143 名）
平成 14 年 4 月	条例定数 143 名、実員 142 名
平成 15 年 4 月	職員 5 名採用（条例定数 143 名、実員 143 名）
平成 16 年 3 月	消防本部に高機能消防指令センター開所 花巻南温泉分遣所に高規格救急自動車を配置 消防事務組合発足 30 周年記念式典を実施 消防署に高規格救急自動車を更新配置 花巻空港化学消防自動車操作委託業務契約終了
4 月	職員 3 名採用（条例定数 143 名、実員 143 名） 緊急消防援助隊登録（消火部隊）
平成 17 年 4 月	条例定数 143 名、実員 142 名
10 月	東和分署に高規格救急自動車を更新配置
12 月	花巻温泉分遣所に災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型を更新配置 大迫分署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ－A型を更新配置 花巻地区消防事務組合解散式を挙行

(3) 花巻市消防本部の発足

年 月	記 事
平成 18 年 1 月	花巻市、大迫町、石鳥谷町、東和町が合併し、新「花巻市」が誕生 花巻市消防本部発足（条例定数 143 名、実員 142 名）
4 月	職員 1 名採用（条例定数 143 名、実員 143 名）
平成 19 年 4 月	職員 4 名採用（条例定数 148 名、実員 143 名） 緊急消防援助隊登録（消火部隊、化学車隊）
平成 20 年 3 月	消防署に災害対応特殊化学消防ポンプ自動車Ⅲ型を更新配置
4 月	職員 5 名採用（条例定数 148 名、実員 146 名）
4 月	緊急消防援助隊登録（災害支援隊）
6 月	岩手宮城内陸地震発生に伴い、相互応援協定により被災地に救急隊出動
10 月	花巻南温泉分遣所に高規格救急自動車を更新配置
平成 21 年 2 月	災害後方支援車を新規配置
3 月	花巻温泉分遣所 新庁舎落成
4 月	職員 6 名採用（条例定数 148 名、実員 145 名）
12 月	花巻温泉分遣所に高規格救急自動車を更新配置
平成 22 年 4 月	職員 10 名採用（条例定数 148 名、実員 145 名）
5 月	大迫分署に高規格救急自動車を更新配置
12 月	花巻中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ－A型を更新配置 水槽付消防用自動 2 輪車を新規配置
平成 23 年 3 月	東日本大震災に伴い釜石・大槌地区に救急隊応援派遣 石鳥谷分署移転新築整備 消防署第 2 車庫新築整備 消防署救急専用室整備
4 月	組織改編により花巻中央消防署、花巻北消防署の 2 署体制とする。 職員 4 名採用（条例定数 148 名、実員 145 名）
12 月	花巻北消防署に高規格救急自動車を更新配置
平成 24 年 2 月	花巻中央消防署に救助工作車を更新配備
3 月	大迫分署移転新築整備
4 月	職員 3 名採用（条例定数 148 名、実員 146 名）
12 月	花巻中央消防署に高規格救急自動車を更新配備
平成 25 年 3 月	災害後方支援資機材搬送車を総務省消防庁より無償貸与
4 月	緊急消防援助隊登録（災害支援隊） 職員 4 名採用（条例定数 148 名、実員 148 名）
平成 26 年 4 月	職員 11 名採用（条例定数 148 名、実員 148 名）
平成 27 年 4 月	職員 5 名採用（条例定数 148 名、実員 148 名）
11 月	消防救急デジタル無線運用開始
平成 28 年 4 月	職員 8 名採用（条例定数 148 名、実員 148 名）
平成 29 年 3 月	花巻北消防署に小型動力ポンプ付水槽車Ⅰ型を新規配置
平成 29 年 3 月	花巻中央消防署に消防指揮自動車を更新配置

	4月	職員8名採用（条例定数148名、実員147名）
平成30年	2月	花巻北消防署に災害特殊水槽付ポンプ自動車Ⅱ型を更新配備
	4月	職員4名採用（条例定数148名、実員147名）
	9月	北海道胆振東部地震に伴う緊急消防援助隊統合機動部隊及び後方支援隊の派遣
平成31年	1月	花巻北消防署に消防指揮自動車を更新配置
	4月	職員7名採用（条例定数148名、実員146名）
令和2年	2月	花巻中央消防署に災害特殊水槽付ポンプ自動車Ⅱ型を更新配備
	4月	定数条例改正（148名から151名） 職員5名採用（条例定数151名、実員146名）
令和3年	3月	花巻中央消防署にはしご車を更新配備
	4月	職員6名採用（条例定数151名、実員146名）
	12月	花巻中央消防署及び花巻北消防署に高規格救急自動車を更新配備 東和分署に救急室兼車庫を建築
令和4年	4月	職員5名採用（条例定数151名、実員150名） 花巻市消防山岳救助隊発足（21名任命）
	12月	花巻温泉分遣所に高規格救急自動車を更新配備
令和5年	4月	職員4名採用（条例定数151名、実員149名、うち救急救命士有資格者49名）
	12月	大迫分署に高規格救急自動車を更新配備
令和6年	1月	花巻中央消防署に搬送2号車配備
	3月	東和分署に消防広報車を更新配備
	4月	定数条例改正（151名から161名） 職員4名採用（条例定数161名、実員145名）

(4) 歴代消防長・消防署長

消防長

氏 名	在 職 期 間
菊 池 武	昭和 49 年 4 月 1 日 ～ 昭和 54 年 3 月 31 日
池 田 倉 蔵	昭和 54 年 4 月 1 日 ～ 昭和 57 年 3 月 31 日
柳 田 満	昭和 57 年 4 月 1 日 ～ 昭和 61 年 3 月 31 日
佐 藤 金 一	昭和 61 年 4 月 1 日 ～ 平成 元年 3 月 31 日
本 舘 源 吾	平成 元年 4 月 1 日 ～ 平成 3 年 3 月 31 日
村 田 祥	平成 3 年 4 月 1 日 ～ 平成 6 年 3 月 31 日
佐 藤 清	平成 6 年 4 月 1 日 ～ 平成 8 年 3 月 31 日
宮 森 誠 悦	平成 8 年 4 月 1 日 ～ 平成 10 年 3 月 31 日
平 賀 博	平成 10 年 4 月 1 日 ～ 平成 12 年 3 月 31 日
高 橋 文 雄	平成 12 年 4 月 1 日 ～ 平成 14 年 3 月 31 日
大 木 直 義	平成 14 年 4 月 1 日 ～ 平成 16 年 3 月 31 日
堀 岡 正 康	平成 16 年 4 月 1 日 ～ 平成 18 年 3 月 31 日
高 橋 敏 知	平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日
平 賀 敏 夫	平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 21 年 3 月 31 日
伊 藤 勝 男	平成 21 年 4 月 1 日 ～ 平成 22 年 3 月 31 日
菊 池 定 雄	平成 22 年 4 月 1 日 ～ 平成 24 年 3 月 31 日
瀬 川 泰 正	平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 26 年 3 月 31 日
石 崎 信 彦	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日
照 井 博 美	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日
小田島 満	平成 29 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
笹 間 利 美	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 3 年 3 月 31 日
岡 田 弘 康	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
八重樫 晴 彦	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 現在に至る

消防署長

氏 名	在 職 期 間
葛 尾 清 幸	昭和 49 年 4 月 1 日 ～ 昭和 55 年 6 月 3 日
菊 池 茂 夫	昭和 55 年 6 月 16 日 ～ 昭和 63 年 3 月 31 日
太 田 昭	昭和 63 年 4 月 1 日 ～ 平成 2 年 3 月 31 日
佐 藤 清 六	平成 2 年 4 月 1 日 ～ 平成 5 年 3 月 31 日
白 藤 敬 造	平成 5 年 4 月 1 日 ～ 平成 8 年 3 月 31 日
伊 藤 清 蔵	平成 8 年 4 月 1 日 ～ 平成 11 年 3 月 31 日

久保田 芳 男	平成 11 年 4 月 1 日 ～ 平成 12 年 3 月 31 日
古 川 浩	平成 12 年 4 月 1 日 ～ 平成 13 年 3 月 31 日
高 橋 功	平成 13 年 4 月 1 日 ～ 平成 14 年 3 月 31 日
照 井 順 三	平成 14 年 4 月 1 日 ～ 平成 15 年 3 月 31 日
藤 井 直 美	平成 15 年 4 月 1 日 ～ 平成 16 年 3 月 31 日
伊 藤 勝 男	平成 16 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日
菊 池 定 雄	平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 22 年 3 月 31 日
畠 山 誠	平成 22 年 4 月 1 日 ～ 平成 23 年 3 月 31 日

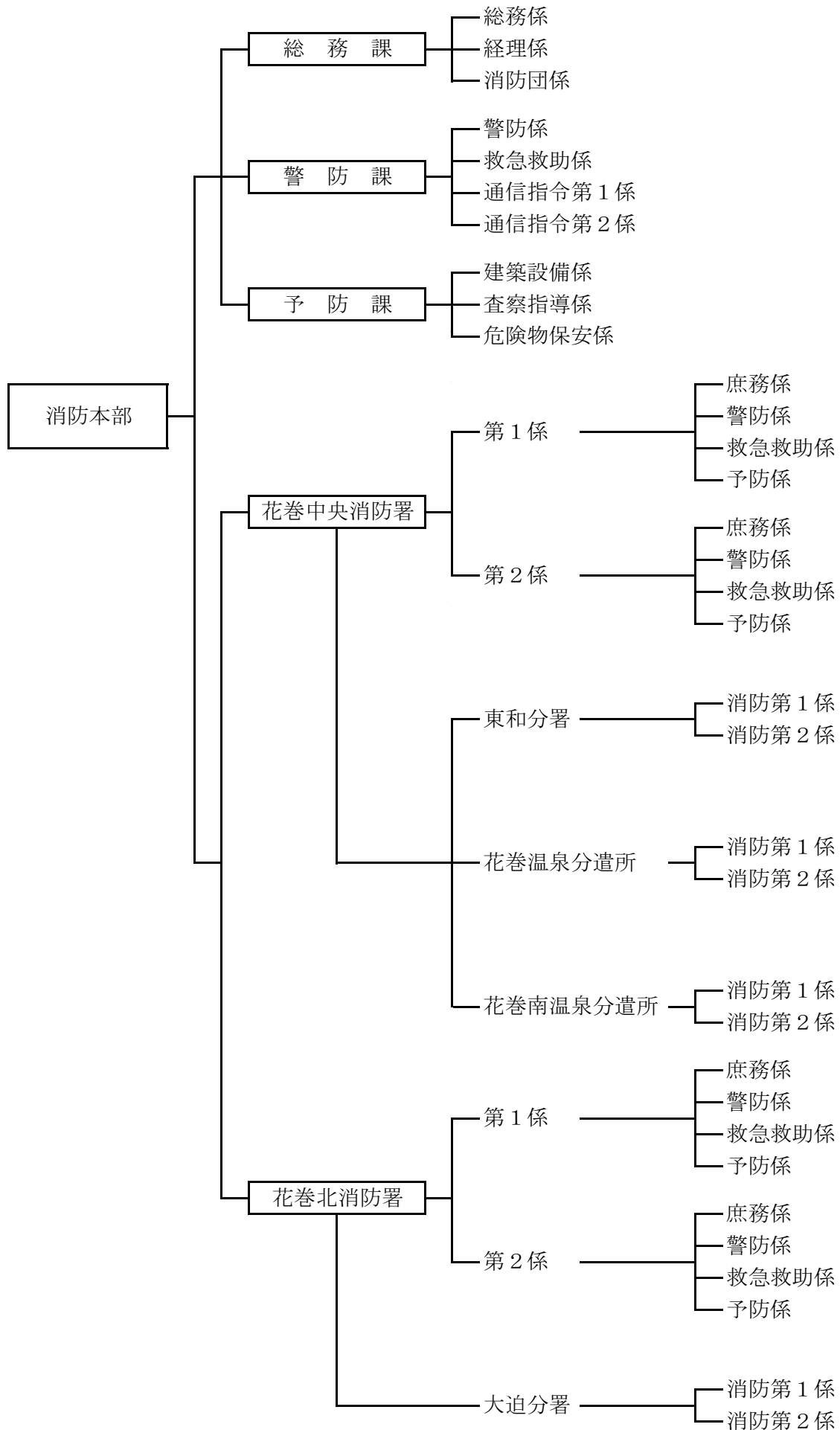
花巻中央消防署長

氏 名	在 職 期 間
畠 山 誠	平成 23 年 4 月 1 日 ～ 平成 25 年 3 月 31 日
梅 木 富 雄	平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 26 年 3 月 31 日
小 原 司	平成 26 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日
戸 来 清 彦	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
照 井 博 幸	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
小 原 卓 也	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 現在に至る

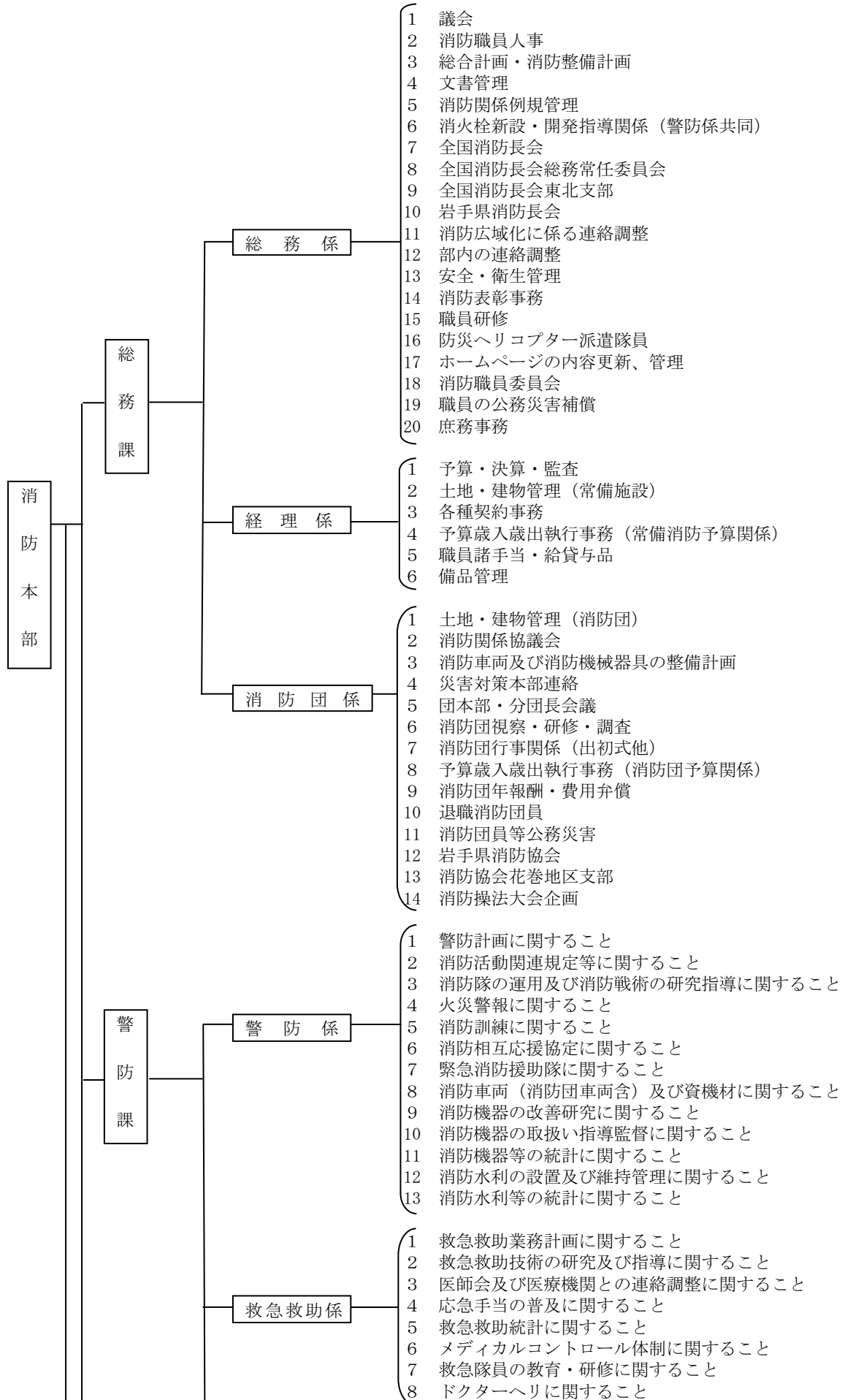
花巻北消防署長

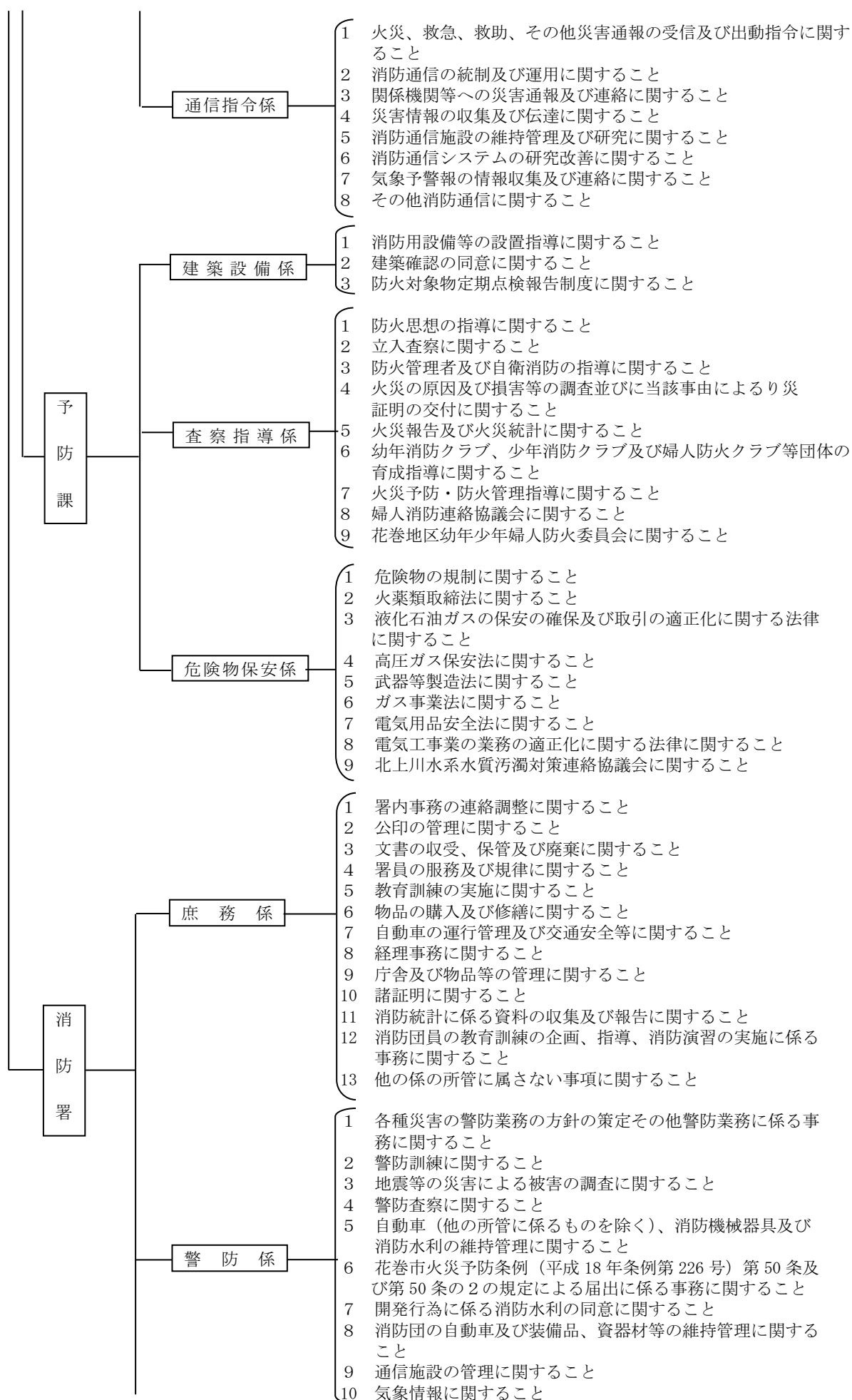
氏 名	在 職 期 間
(兼)菊 池 定 雄	平成 23 年 4 月 1 日 ～ 平成 23 年 4 月 30 日
石 崎 信 彦	平成 23 年 5 月 1 日 ～ 平成 24 年 3 月 31 日
梅 木 富 雄	平成 24 年 4 月 1 日 ～ 平成 25 年 3 月 31 日
高 橋 千代志	平成 25 年 4 月 1 日 ～ 平成 27 年 3 月 31 日
浅 沼 清 孝	平成 27 年 4 月 1 日 ～ 平成 28 年 3 月 31 日
田 井 正 一	平成 28 年 4 月 1 日 ～ 平成 29 年 3 月 31 日
多 田 成 樹	平成 29 年 4 月 1 日 ～ 平成 30 年 3 月 31 日
桐 田 守 朗	平成 30 年 4 月 1 日 ～ 令和 2 年 3 月 31 日
藤 原 秀 孝	令和 2 年 4 月 1 日 ～ 令和 5 年 3 月 31 日
小 原 一 志	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 現在に至る

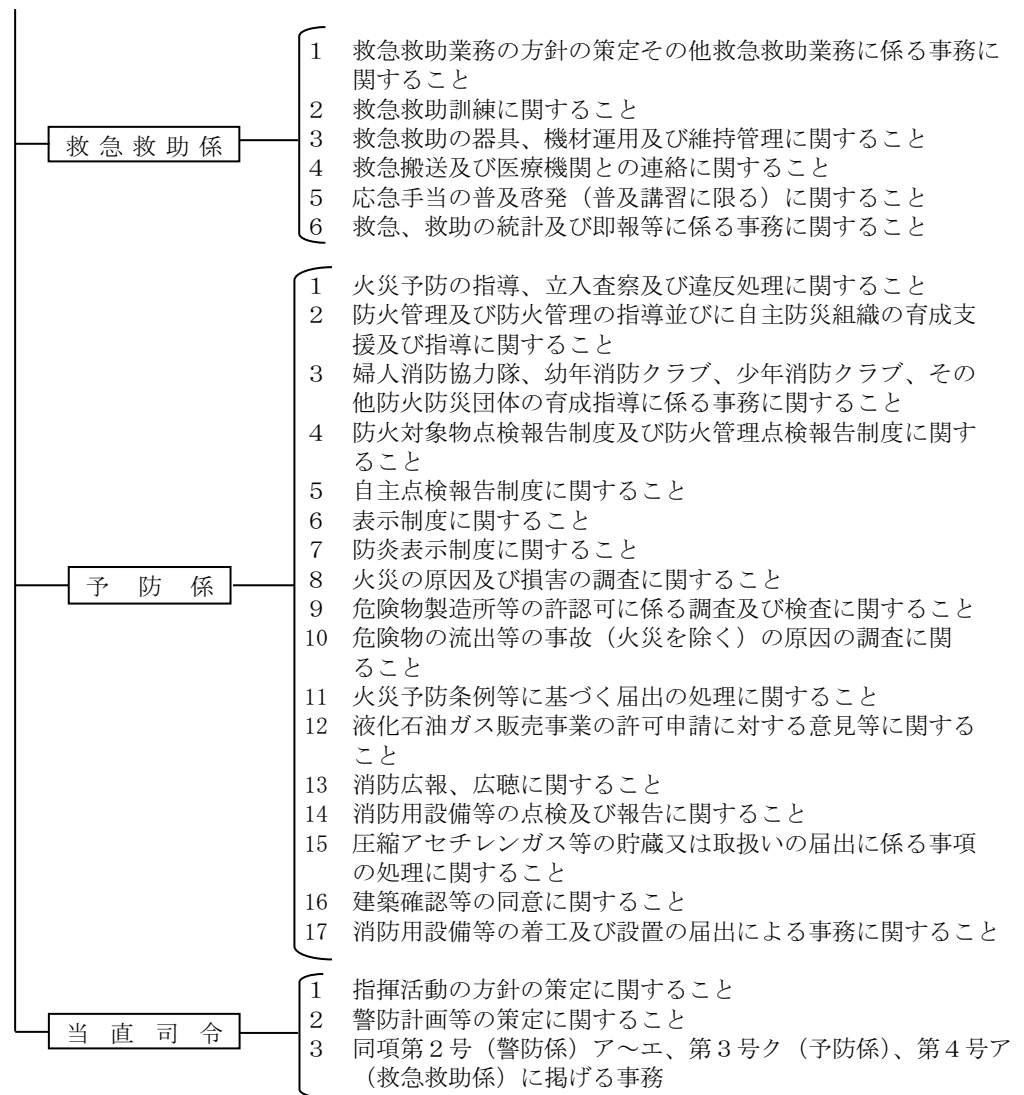
1. 花巻市消防本部の組織



2. 花巻市消防本部事務分掌



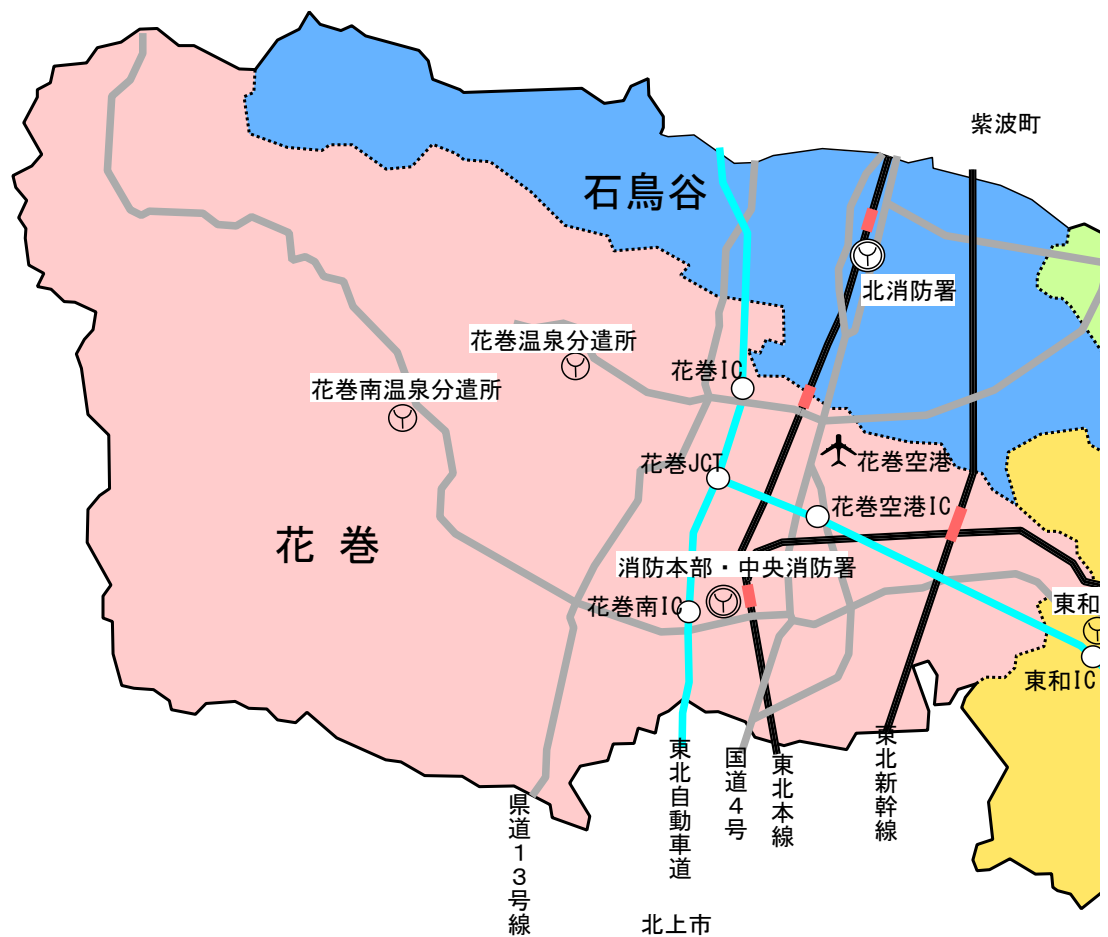




3. 管内の現況

	署 所 別	人 口 (人)	世帯数 (世帯)	面 積 (km ²)	人 口 密 度 (人/km ²)
花 巻	消 防 本 部				
	中 央 消 防 署				
	中央消防署花巻温泉分遣所	65,620	28,760	385.4	170.26
	中央消防署花巻南温泉分遣所				
	中央消防署東和分署	7,503	2,987	157.5	47.64
	北 消 防 署	13,044	5,325	118.6	110.01
	北消防署大迫分署	4,302	1,773	246.8	17.43
合 計	(平 均)	90,469	38,845	908.3	99.60

4. 消防本部、署所の位置及び管轄区域



(令和6年4月1日現在)

消防吏員 数(人)	消 防 吏 員 一 人 当 た り		消防ポン プ自動車 台 数	消防ポンプ自動車 1 台 当 た り			救急自動車台数 ()内は予備車
	人口(人)	世帯数		人口(人)	世帯数	面積(km ²)	
29							(1)
57	1,151	505	4	16,405	7,190	96.35	4
17	441	176	1	7,503	2,987	157.51	1
25	522	213	1	13,044	5,325	118.57	1
17	253	104	1	4,302	1,773	246.84	1
145	(624)	(268)	7	(12,924)	(5,549)	(129.76)	7



5. 消防予算当初（令和5年、令和6年度）

（単位：千円）

		令和5年度	令和6年度
花巻市総予算額（A）		53,791,155	55,153,324
花巻市消防予算額（B）		1,786,441	2,124,667
比率 B/A（%）		3.3%	3.9%
消防予算額の 内訳	常備消防費 常備消防施設費	1,447,398	1,738,699
	非常備消防費 非常備消防施設費	338,840	385,665
	水防費	203	300
	災害対策費	3	3

（単位：円）

花巻市消防予算 額の換算	人口1人当たり	19,480	23,485
	1世帯当たり	46,189	54,696
常備消防費、常 備消防施設費の 換算	消防吏員1人当 たり	9,714,081	11,991,027

6. 消防庁舎の概要

(令和6年4月1日現在)

区分	所在地	敷地面積	建築 延面積	構造	建築 年月日
消防本部 中央消防署	花巻市材木町12番 6号	3,853.17㎡	2027.92㎡	鉄筋コンクリート造、地下1階 地上3階、訓練塔地上7階建	S53.5.31
車庫及び空気ボンベ 充填室	〃		205.20㎡	鉄骨造平屋建	H23.3.24
倉庫	〃		33.74㎡	鉄骨造	H23.3.24
水防倉庫	〃		13.98㎡	軽量鉄骨造	H26.1.23
物置	〃		5.48㎡	軽量鉄骨造	H26.1.23
少量危険物保管庫	〃		3.35㎡	軽量鉄骨造	H26.1.23
自家発電置場	〃		5.22㎡	鉄骨造	H16.3
花巻市消防本部 資機材庫	花巻市南万丁目 970番地10	251㎡	84㎡	鉄骨造平屋建	H 7.3
中央消防署 花巻温泉分遣所	花巻市台第5地割 21番地1	1,298㎡	269.06㎡	鉄骨一部木造平屋建	H21.3.14
自家発電置場	〃		2.64㎡	鉄骨造	H16.3
中央消防署 花巻南温泉分遣所	花巻市湯口字大沢 187番地2	711㎡	237.36㎡	鉄骨一部木造	H2.10.22
自家発電置場	〃		2.64㎡	鉄骨造	H16.3
花巻中央消防署 東和分署	花巻市東和町安俵 6区115番地	738㎡	346㎡	鉄骨造平屋建	S61.11.30
救急室兼車庫	〃		71.82㎡	鉄骨造平屋建	R3.12.9
自家発電置場	〃		2.64㎡	鉄骨造	H16.3
北消防署	花巻市石鳥谷町八 幡第4地割100番地1	4,127㎡	984.42㎡	鉄骨造2階建	H23.4.27
主訓練塔	〃		175㎡	鉄骨造5階建	H23.4.27
倉庫（補助訓練塔）	〃		60㎡	鉄骨造平屋建	H23.4.27
自家発電置場	〃		2.64㎡	鉄骨造	H23.4.27
北消防署 大迫分署	花巻市大迫町大迫 第13地割22番地1	893㎡	436.29㎡	鉄骨造一部2階建て	H24.3.25
自家発電置場	〃		2.64㎡	鉄骨造	H24.3.25

7. 職員の階級別配置状況

(令和6年4月1日現在)

階 級 署所別		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	う ち 女 性	消 防 副 士 長	う ち 女 性	消 防 士	う ち 女 性	人 数	う ち 女 性
消 防 本 部	消防長、次長	1	1									2	
	総務課			2	3							5	
	警防課		1	4	3	1		3				12	
	予防課		1	2				1	1			4	1
	※派遣				2					4		6	
	小 計	1	3	8	8			4	1	4		29	1
花 巻 中 央 消 防 署	本 署		1	5	12	8	1	8	3	7		41	4
	花巻温泉分遣所				3	1		4				8	
	花巻南温泉分遣所				2	2		2		2		8	
	東和分署			2	3	5		5		2		17	
	小 計		1	7	20	16	1	19	3	11	0	74	4
花 巻 北 消 防 署	本 署		1	4	6	5		4		5	2	25	2
	大迫分署			2	4	3		6		2		17	
	小 計		1	6	10	8		10	0	7		42	2
合 計		1	5	21	38	24	1	33	4	22	0	145	7

※岩手県防災航空隊派遣1名

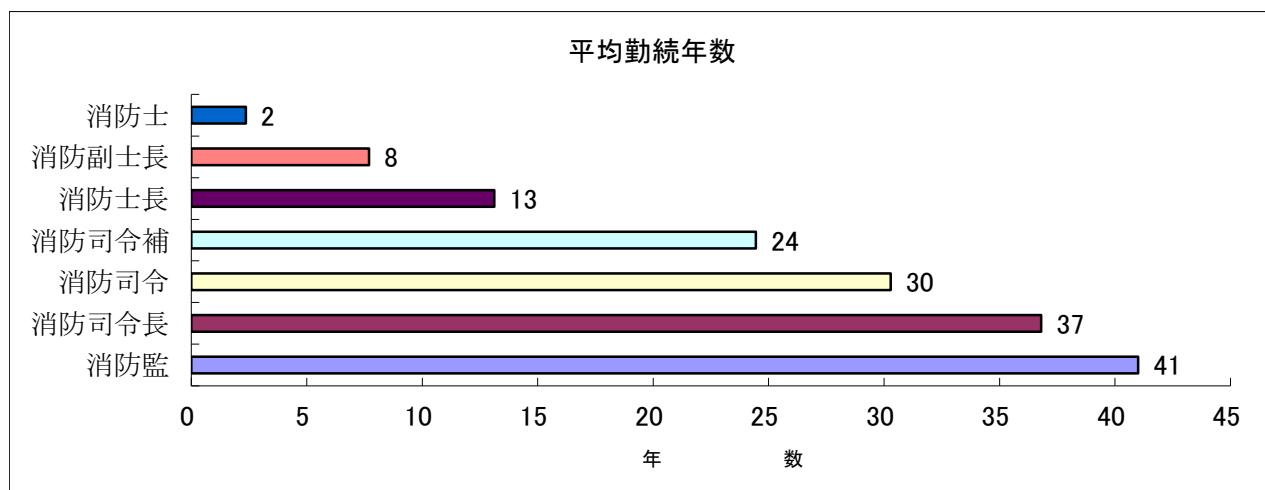
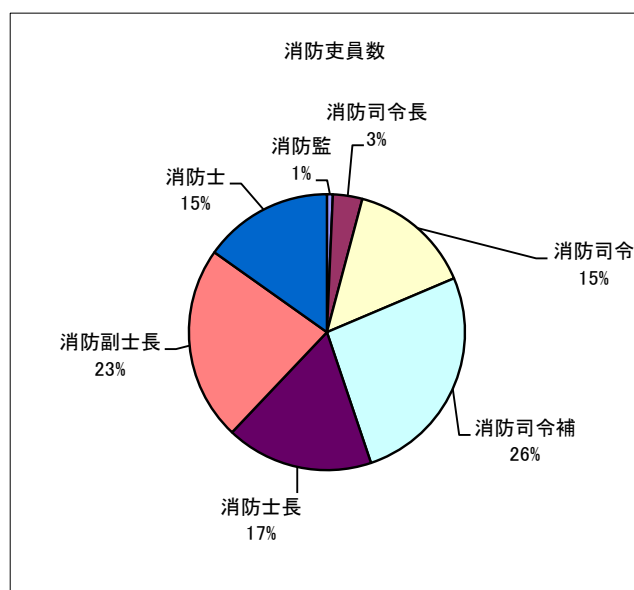
いわて消防通信指令事務協議会推進室派遣1名

岩手県消防学校初任科教育課程派遣4名

8. 職員の階級別平均年齢、平均勤続年数

(令和6年4月1日現在)

階 級 \ 区 分	消 防 吏 員 数	平 均 年 齢	平均勤続年数
消 防 監	1 名	59 歳	41 年
消 防 司 令 長	5 名	56 歳	37 年
消 防 司 令	21 名	50 歳	30 年
消 防 司 令 補	38 名	45 歳	24 年
消 防 士 長	25 名	35 歳	13 年
消 防 副 士 長	33 名	28 歳	8 年
消 防 士	22 名	22 歳	2 年
合 計	145 名	37 歳	17 年



9. 職員の年齢別在職年数

(令和6年4月1日現在)

年 齢 在職年数	年 齢									合 計	
	18 ～ 20	21 ～ 25	26 ～ 30	31 ～ 35	36 ～ 40	41 ～ 45	46 ～ 50	51 ～ 55	56 以上	うち 女性	計
1年未満	4										4
1年	2	1	1								4
2年	2	2	1							1	5
3年		2	3								5
4年		2	1								3
5年		3	3							1	6
6年		1	3								4
7年		3	4	1						2	8
8年			5							1	5
9年			2	1							3
10年			5	5							10
11年				1	2						3
12年			2							1	2
13年				2	2						4
14年				3	4						7
15年				1	3					1	4
16年				1	2						3
17年					2	1					3
18年						1					1
19年											
20年						2					2
21年					3	1	1				5
22年											
23年						1	2				3
24年						1	2				3
25年						2					2
26年						3	2				5
27年						1	3	2			6
28年							8	1			9
29年							4	1			5
30年							3	1			4
31年							7				7
32年											
33年								2			2
34年								2	1		3
35年											
36年								1	1		2
37年											
38年									1		1
39年											
40年									2		2
41年											
合 計	8	14	30	15	18	13	32	10	5	7	145
うち女性		1	4	1	1					7	

10. 職員の階級別在職年数

(令和6年4月1日現在)

階級 在職年数	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	合 計	
								うち女性	
1年未満							4		4
1年						1	3		4
2年							5	1	5
3年						1	4		5
4年							3		3
5年						3	3	1	6
6年						4			4
7年						8		2	8
8年						5		1	5
9年						3			3
10年					5	5			10
11年					3				3
12年						2		1	2
13年					4				4
14年					6	1			7
15年					4			1	4
16年				1	2				3
17年				2	1				3
18年				1					1
19年									
20年				2					2
21年				5					5
22年									
23年				3					3
24年				3					3
25年				2					2
26年			1	4					5
27年			2	4					6
28年			1	8					9
29年			3	2					5
30年			4						4
31年			6	1					7
32年									
33年		1	1						2
34年			3						3
35年									
36年		2							2
37年									
38年		1							1
39年									
40年以上	1	1							2
合 計	1	5	21	38	25	33	22	7	145
うち女性					1	4	2	7	

11. 職員の階級別年齢状況

(令和6年4月1日現在)

階級 年齢		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士	消防長	消防副士長	消防士	うち女性	合 計
18歳									1		1
19歳									4		4
20歳									3		3
21歳											
22歳									2		2
23歳									5	1	5
24歳								1	2		3
25歳								3	1		4
26歳								2	2	1	4
27歳								4	1	1	5
28歳								7	1	1	8
29歳								6			6
30歳								7		1	7
31歳							1				1
32歳							4	2		1	6
33歳							3				3
34歳							3	1			4
35歳							1				1
36歳							7				7
37歳							4			1	4
38歳							1				1
39歳					3	1					4
40歳					2						2
41歳					2						2
42歳					3						3
43歳					3						3
44歳					3						3
45歳					2						2
46歳					8						8
47歳					3						3
48歳				1	6						7
49歳				10	1						11
50歳				3							3
51歳				2	1						3
52歳				2	1						3
53歳				1							1
54歳			1	1							2
55歳			1								1
56歳			1								1
57歳											
58歳			1	1							2
59歳		1	1								2
60歳											
合 計		1	5	21	38	25	33	22	7		145
うち女性						1	4	2	7		

12. 職員の免許、資格等取得状況

(令和6年4月1日現在)

階級別 免許等の区分			消 防 監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	消 防 士	合 計
運 転 免 許 ・ 整 備 関 係	大 型 自 動 車	第1種	1	5	18	36	22	22		104
		第2種				1				1
	大型特殊自動車	第1種	1			6		1		8
		第2種								
	中 型 自 動 車	第1種				1				1
	中 型 自 動 車 (8 t 限 定)	第1種			3	3	5			11
		第2種								
	普 通 自 動 車	第1種	1	5	21	38	25	33	22	145
	自 動 二 輪 車	普 通	1	1	6	8	1	7	2	26
		大 型		1	2	3		1	1	8
	自 動 車 整 備 士	3 級								
救 急 救 助 関 係	救 急 救 命 士		1	3	7	13	10	8	3	45
	(認 定 薬 剤)		1	2	7	13	10	7	1	(41)
	(認 定 挿 管)		1	3	7	13	10	7		(41)
	J	P T E C	1	3	12	14	4	4		38
	B	L S		2	5	3				10
	A	C L S			1					1
	I	T L S								
	I	C L S								
	テクニカルロープレスキュー			2	8	14	2			26
	スリフトウォーターレスキュー				5	3	8	1		17
	玉 掛 技 能			2	7	17	15	5		46
	移 動 式 ク レ ー ン			2	7	16	15	6		46
	小 型 船 舶 操 縦 士			2	6	12	11	1		32
	潜 水 士				1	1	2			4
	ガ ス 溶 接 技 能				1	1	1			3
	ア ー ク 溶 接 技 能				1	1	1			3
通 信 関 係	第3級総合無線通信士									
	第1級陸上特殊無線技士				2	3		1		6
	第2級陸上特殊無線技士			4	15	6		1		26
	第3級陸上特殊無線技士			1	4	22	15	9	3	54
	第3級アマチュア無線技士									
	第4級アマチュア無線技士				6	1				7
予 防 関 係	危 険 物 取 扱 者	乙 類		1	7	11	8	14	3	44
		丙 種		1	4	3				8
	毒 物 ・ 劇 物 取 扱 者			1	2	1	1	1		6
	消 防 設 備 士	甲 種				2	1			3
		乙 種	1	1	3	3	3	1		12
	予 防 技 術 者	査 察			2	6	7	11	2	28
		設 備			5	5	3	4	1	18
		危険物		1	2	8	4	4	1	20
	消防設備点検資格者2種									
	防火対象物点検資格者				1					1
そ の 他	電 気 工 事 士					1	1			2
	衛 生 管 理 者				2	4				6
	高圧ガス製造保安取扱者									
	16ミリ映画機取扱者			1	4	5	2			12
	酸素欠乏危険作業主任者					2	2			4
	ボ イ ラ ー 技 士				1					1
	公 害 防 止 管 理 者									
	防 災 士		1		1	2				4
	特定化学物質等作業主任者			1	1	1				3

13. 職員の教養訓練の状況

(令和5年度中)

階 級 区 分			消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計		
学 校 教 養	消 防 大 学 校	警 防 科								-		
		火 災 調 査 科								-		
		危 険 物 科								-		
		予 防 科								-		
		救 助 科								-		
		救 急 科								-		
		上 級 幹 部 科		1						1		
		幹 部 研 修 科								-		
		幹 部 科			1					1		
		新 任 教 育								-		
		航 空 隊 コ ー ス				1				1		
	県 消 防 学 校	初 任 教 育								3	3	
		初級・中級幹部科					2				2	
		上 級 幹 部 科				2					2	
			警 防 科				2					2
			救 助 科					1	2			3
			予 防 総 合 科									-
			火 災 調 査 科					2				2
			救 急 科 (標 準 ・ II 含 む)						3	2		5
	土 砂 災 害 科						1	1			2	
	特 別 女 性 活 躍							1	1		2	
特 別 教 養	救命士養成教育							2		2		
	(救急救命東京研修所)							2		2		
	(東京消防庁消防学校)									0		
	(大阪府大阪市消防学校)									0		
合 計				1	3	5	4	11	6	30		

14. 職員表彰の状況

(令和5年度中)

区分 \ 階級別		合計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合 計		37	2		14	16	5		
消防庁長官	功 勞 章								
	永 年 勤 続 功 勞 章	1	1						
岩手県知事	功 勞 章								
	功 績 章	3			3				
市 長	勤続功労者表彰 30年	4			2	2			
	功 績 者 表 彰 25年	2				2			
	精 練 表 彰 20年	2				2			
	功 労 者 表 彰 功労								
全国消防長会	永年勤続表彰 30年	4			2	2			
全国消防長会 東 北 支 部	永年勤続表彰 20年	2				2			
全国消防協会	全国優良消防職員表彰								
日本消防協会	精 績 章								
	勤 続 章	7			5	2			
岩手県消防協会	功 勞 章								
	功 績 章	2			2				
岩手県消防協会 花巻地区支部	功 勞 章	1	1						
	功 績 章	2				2			
	精 練 章	3				2	1		
	勤 続 章	4					4		

15. 令和5度中の主要行事

年 月 日	行 事 内 容
令和5年6月7日	早池峰山遭難救急救助訓練
6月28日	消防救助技術岩手県大会
7月26日	東北地区支部消防救助技術指導会
9月14日	救急の日・救急医療週間関連行事
11月5日	花巻市消防演習
11月11日	秋季火災予防週間関連行事
令和6年1月7日	花巻市消防出初式
1月21日	文化財防火デー関連行事
2月9日	岩手県消防職員意見発表会（場所：アートホテル盛岡）
3月3日	春季火災予防運動関連行事